

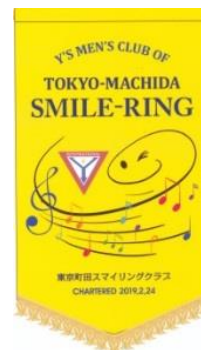


THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y's Men's CLUBS
JAPAN EAST REGION TOHSHIN DISTRICT
TOKYO MACHIDA SMILE-RING Y'S MEN'S CLUB

東京町田スマイリングワイズメンズクラブ

2020年
5月号(第14号)

THE SMILE-RING Chartered in Feb. 2019



今月の聖句

主は人の一步一步を定め、御旨に
かなう道を備えてくださる。人は倒れ
ても、打ち捨てられるのではない。
主がその手をとらえていてくださる。

詩編 37編 23~24 節

【 5月の巻頭言 】

為我井輝忠

あつという間に5月になりました。

早春の肌寒さを覚えた4月とは異なり、もう夏の暑さを感じる日々を迎えました。皆さま、如何お過ごしですか。外出もままならない不自由な日常生活をお過ごしのことと思います。さらに緊急事態宣言が5月末までに延びました。

私は最近、「邂逅(かいこう)」という言葉に興味を覚えています。この数か月新型コロナウイルス禍のために旅行もできず、外出さえ控えなければならないなかで、日々人と接触することも外からの刺激を受けることも極端に少なくなっています。そんな中での楽しみは、花を愛でること、音楽を聴くこと、読書、博物館や美術館のオンライン中継を見ること等です。

庭の片隅を見たり、家の周りを散歩したりしていると、思わぬ発見があります。これまで目に留めなかった名も知らぬ草花がたくさん咲いていて、自ずと写真に撮ったり、語り掛けたりしています。花を愛でることがこんなにも楽しいとは！音楽を聴くことも読書もこれまで変わらずに続けている楽しみです。ただこの時期、長時間これらのことに没頭できることです。2時間も3時間も、否、それ以上のこともあります。誰にも中断されることなく、至福の時を過ごすことができるのはこの時期ならではの特権ではないでしょうか。時折コーヒーを飲みながら楽しんでます。博物館や美術館のオンライン中継は最近多くのところで行われていますが、自宅に居ながらにして様々な展覧会を見ることが出来るのは楽しいです。このように日々新しい出会いを経験し、刺激を受けることにより、生き生きとした生活が生まれるのではないのでしょうか。その意味で私は

《モットー》

『 強い義務感を持つ 義務は全ての権利に伴う 』

国際会長 Jenifer Jones 「より良い明日のために今日を築く」

“Building today for a better tomorrow”

アジア・太平洋地域会長 田中博之(東京多摩みなみ) “ACTION!”

東日本区理事 山田敏明(十勝) 「勇気ある変革」

東新部部長 小川圭一(東京世田谷) 「心を尽くして、YMCAのために」

クラブ会長 為我井輝忠 「感謝、信頼、地固め、そして成長！」

[クラブ役員] 直前会長 太田勝人 書記 尾張日出夫

担当主事 諏訪治邦

2020年6月例会プログラム

(注)会場予約済ですが催行の判断は6月初めになります。

日時：2020年6月17日(水) 19:00~21:00

会場：町田中央公民館 6階 美術工芸室

司会 大田勝人

1. 開会点鐘 会長 為我井輝忠

2. ワイズソングと信条 一同

3. 聖句朗読と祈禱 諏訪治邦

4. ゲストとビジター紹介 会長 為我井輝忠

5. 会食

6. 卓話：「コンビニエンスストアの発展」

東京世田谷クラブ 朝倉正昭様

7. ハッピーバースデー

8. 諸報告 *ワイズ関係

*YMCA関係

9. スマイリング献金

10. 閉会点鐘 会長 為我井輝忠

これを「邂逅(巡り合い)」と呼びたいです。私たちはアンテナをどの方向に向けるかで、その感度の良し悪しは私たちめいめいに備わっている感性に左右されるものです。外からの知的・情的な情報を受け取る受容体を増やし、アンテナを高く挙げることを心がけていれば、いずれ大きな実を結ぶかもしれません。様々なものとの邂逅を通してより高根を目指したいものです。

【 今月の強調テーマ 】

5月の強調テーマ：EF/JEF

EF=Endowment Fund の略で国際ワイズ運動の発展のため国際協会の特別基金です。

個人・クラブが記念すべき出来事・行事・慶弔事などの折り、寄付金を国際協会に送金し積み立てます。「基金評議会」が管理し、その運用益を利用する。US\$120以上の寄付をされますと国際協会が永久保管する「ゴールドブック」に記載される。国際協会にはこの基金の推進委員会があり、東日本区では国際・交流事業主任がその推進を担当しています。

JEF=Japan East Y's Men's Fund の略で「東日本区ワイズ基金」です。

東日本区ワイズ運動の継続的奉仕活動を支えるため、個人・クラブが記念すべき出来事・行事・慶弔事などのときの拠金が基になっている。寄付された方の氏名とその理由を「奉仕帳」に記載し、永久保管されます。(太田 記)

《 青春 サムエル・ウルマン詩 作山 崇久訳 》

青春とは、人生のある期間でなく、心の持ち方を言う。薔薇の面差し、紅の唇、しなやかな肢体ではなく、たくましい意志、ゆたかな想像力、炎える情熱をさす。青春とは人生の深い泉の清新さをいう。

青春とは怯懦(きょうだ)を退ける勇氣、安易を振り捨てる冒険心を意味する。ときには、20歳の青年よりも60歳の人に青春がある。年を重ねただけでは人は老いない。理想を失うとき初めて老いる。

歳月は皮膚にしわを増すが、熱情を失えば心はしばむ。苦悩・恐怖・失望により気力は地に這い、精神は芥になる。

60歳であろうと16歳であろうと人の胸には、驚異に魅かれる心、おさな児のような未知への探求心、人生への興味の歓喜がある。君にも吾にも見えざる駅通りが心にある。人から神から美・希望・喜悅・勇氣・力の靈感を受ける限り君は若い。

靈感が絶え、精神が皮肉の雪におおわれ、悲嘆の氷にとざされるとき、20歳であろうと人は老いる。頭を高く上げ希望の波をとらえる限り、80歳であろうと人は青春にして已む。

(太田勝人様のご推奨により掲載)

【事務局からのご報告】

2月は本例会を中止し、同月28日に3役による臨時例会開催以来、全ての例会と行事を中止してお

り、積極的な活動は何もできない状況でした。

なお、悠々園で開催した歌声サロン活動への補助金申請手続きの為、為我井会長と尾張書記が4月28日に社会福祉協議会を訪問し承認を頂きました。

これから新型コロナウイルス禍の影響がどのように展開するのか先が読み難い状況ですが、6月17日(水)と7月15日(水)の例会会場を予約済です。

歌声サロンの再開については会場側の意向に従う必要がありますので、暫く待たねばなりません。

(尾張 記)

お互い知り合うシリーズ 竹尾信吉さん

『私の音楽履歴書』 竹尾信吉(たけおしんきち)

1944年12月17日伊豆大島で生まれる。

小学校2年から東京都荒川区に移り日暮里第3小学校編入。中学生より足立区に移り、恩師と出会い、アマチュア無線、歌への影響を受ける。その後、東京電機大学附属高等学校を得て、設立間もない富士ゼロックスにサービスエンジニアとして入社、その後、パーツセンターに移動となり、音楽の先輩と出会う。合唱やアコーディオン、ピアノも始める。

その先輩の薦めもあり、東京労音合唱団に入団して合唱や仲間との交流で楽しい青春時代を過ごしました。そこで妻とも出会いました。歌声喫茶、ロシア民謡、第九、オペラ出演など様々や経験を積みました。結婚を機に、町田に居を構えました。

混声合唱団 BOSCO、CANORA、町田フィルハーモニー合唱団などの設立に関わり、ソリストの松原有奈氏、故鹿又透氏、町田市名誉市民故荒谷俊治氏にもご指導いただきました。又、その後、ソリストとしてもご活躍中でありました鹿又透氏と共に町田シティオペラ協会の設立にも参加しました。同氏は昨年秋に56歳の若さでご逝去されました。ほぼ20年に亘ってオペラ、声楽などの個人レッスンを受けました。

そして現在は、町田男声合唱団マルベリーの指揮者であった高桑勝氏(小樽市出身)について歌の勉強させて貰っています。数年前より、玉川学園の夏祭りの

第九を通して知り合った竹野美歩さん、昨年には元ともしび団員の白川伸和さん、そして最近厚木のトランペッターの小松さんも参加いただき、ムジカコンソラータというアンサンブルとして活動しています。又、ワイズメンズの方々と出会い、今までの音楽活動を通しての経



験が役に立たないかとおもい、スマイリングクラブの設立に参加して多くの人々と交流できたことは私にとっての大きな財産です。ありがとうございます。

コロナのおかげで活動は休止していますが、ズー

ムなどを使いオンラインで打ち合わせ、練習したりしています。できれば6月以降に歌声サロンを再開したく思います。

皆さま引き続き宜しくお願いします。

中国山西省の旅——各地のキリスト教会を訪ねて（後）

為我井 輝忠

今回の旅行は8月22日から9月5日までの10日間の旅行であったが、すべてガイドの黄さんにアレンジしていただいた。早速、到着してから翌日には各地の教会を訪ね始めた。まずは太原市内の教会を訪ね、次いで北に向かって忻州、原平、代県、朔州を移動しながら各地の天主教（カトリック教会）と基督教（プロテスタント教会）教会を求めて、移動した。

最初に太原市にある教会から訪ねた。太原市は山西省の省都であるので大きな教会はいくつもある。黄さんの案内で先ず訪ねたのは「太原天主堂」である。ここはかなり古いカトリック教会で、規模の大きさだけでなくその美しさにも驚かされた。1870年に創建されたのもう150年の歴史がある。北京にある宣武門天主堂（1605年設立）や王府井天主堂（16053年）に比べると、かなり新しいが、それでも中国のカトリック教会としては古い方に属する。華麗なる「太原天主堂」あり信者たちがグループごとに各箇所



大原市内では他に「太原教区主教座堂」、

「沙溝天主教堂」、「太原基督教会」を訪ねたが、最



「太原基督教会」（プロテスタント教会）

後の教会はプロテスタントの教会である。どの教会も詳しい情報はほとんどなく、名称と写真だけにとどめざるをえなかった。太原市には10以上の教会があるようであるが、大部分はカトリック教会で、プロテスタントの教会は少ない。歴史的にみて、カトリック教会の方が早く中国に進出してきたので、

この派の方が圧倒的に多いのだろう。しかし、どちらにしても日曜日となると、多くの人々がやって来て会堂の中には入り切れないほどである。こんなにもたくさんの人々が押し寄せるのには驚いた。何か理由があるのかもしれない。

太原から原平市へ移動した。ここでは「南青推天主堂」を訪ねた。この教会はかなり古そうである。さらに小さな教会をいくつかみてまわった。次に代県へ行き、「板寺山経母堂」を訪ねたが、ここは大変大きな教会で巡礼地となっていて、聖母マリアを祀る教会のようである。教会の入り口で車を降りて、山道を1時間位登った。途中20カ所位数百メートル毎に小さな祠のようなものが道の両側にあり、そこにはイエス・キリストが磔になる道中を表す印が行く姿が見られた。老若男女あらゆる人がいた。こんな風景を見ていると、ここが中国とはとても思え



「板寺山経母堂」



讚美歌集

ちょうど結婚式が行われていて、華やかな雰囲気が見られ、西洋風な衣装を身にまとった花婿と花嫁が神妙な顔で牧師の話に耳を傾けていた。

最後に、大変珍しい教会を紹介したいと思う。それは同じく代県にある「大保溝経母堂」という中国寺院風の教会で、外側は中国風、内部が西洋式という特異なカトリック教会である。このような教会は雲南省にあるのを本で見たことがあり、恐らく他にはないものと思われる。

各地で仏教寺院もいくつか訪ねたが、古刹が多く、どこも興味深いものがあつた。私が訪ねたのは、太原市の「双塔寺」、「晉祠」、代県市の「阿育王塔」、豆村鎮の「佛光寺」、大同市の「懸空寺」等である。本来ならば、もっと多くの教会を紹介したいが、何分詳しい情報が得られないので、今回は特徴のある教会だけにとどめた。次回を期したいと思う。

なかった。まるでヨーロッパの巡礼地を歩いているようであった。

教会に着くと、中も外も信者で溢れていた。

YMCA NEWS

コロナウイルスの影響を皆さんも受けておられると思います。謹慎期間も長くなり、本当にどうなってしまうのか不安な気持ちの方もいると思います。

東京 YMCA でも、夏のキャンプがほとんど中止せざるを得ない状況になりました。

戦争中の一時期の中断以外、毎年行われていた山中家族キャンプや野尻学荘も中止の判断をいたしました。

とても悲しく残念なことです。コロナという疫病の前では仕方ありません。

しかし、YMCA ではユーチューブ等で、キャンプソングを歌ったり、コンサートの発信をしています。そこには多くの人の笑顔であふれ、反響もいただいています。

どうぞ 東京 YMCA や日本 YMCA 同盟の HP を一度ご覧になることをお勧めします。

今月の聖句にもありますが。この苦難の道も人の一步。必ずみ旨にかなう道が与えられる。人は倒れても打ち捨てられるものではない。

誰もが打ち捨てられない社会が本当に醸成されているか、注視すべき時代になったといえます。

しばらく皆さまにはお会いできていませんが、WEB 例会なども検討してもいいかもしれません。

くれぐれもご自愛ください。

(諏訪治邦 記)

これからの予定

- ① 6月17日(水) 例会 まちだ中央公民館 6F・美術工芸室 19:00～
- ② 7月15日(水) 例会 まちだ中央公民館 6F・第2学習室 19:00～

○例会日 第3水曜日 19:00～21:00 場所：まちだ中央公民館 6階 町田市原町田 6-8

○第2例会 第1土曜日 13:30～15:00 場所：まちだ中央公民館 6階 町田市原町田 6-8

東京町田スマイリングワイズメンズクラブ

事務所：〒242-0007 神奈川県大和市中央林間 太田勝人氣付

会費振込口座：城南信用金庫、玉川学園支店（支店番号：075）

普通預金 口座番号：155093

口座名義：トウキョウマチダスマイリングワイズメンズクラブ